

第2回稲作コスト低減シンポジウム 開催要領

概要

稲作農業を取り巻く状況は、人口の減少、高齢化など、厳しいものがありますが、このような状況の中でも、民間企業が開発した品種を新たに導入したり、JAのカントリーエレベーターを農業生産法人に門戸を開いたりとこれからの農業を先取りするような取組を展開している方々があります。

そこで、このような先進的な取組みをしている方々から講演頂くとともに、幅広い参加者による意見交換を行い、稲作農業の活性化を図る場として昨年に引き続き「第2回稲作コスト低減シンポジウム」を開催します。

開催日時及び場所

日 時：平成28年12月19日（月） 14時～
場 所：農林水産省 7階講堂

講演プログラム

- ① 特別講演「アイリスオーヤマと連携した米ビジネス
～新鮮なお米を毎日届けるために～」
舞台アグリイノベーション(株) 代表取締役社長 針生 信夫
 - ② 「農業生産法人への門戸解放によるカントリーエレベーターの最大活用」
JA越後さんとう 常務理事 水島 和夫
 - ③ 「民間企業開発品種『みつひかり』で多収、作期分散を実現」
三井化学アグロ(株) 営業本部 技術普及部
ハイブリッドライス種子グループリーダー 吉村 明
- 休憩、名刺交換タイム**
- ④ 「集落を守る！低コスト飼料用米生産」
農事組合法人 おくたま農産 代表理事組合長 佐藤 正男
 - ⑤ 「ICTで挑戦！農業経営の『見える化』」
(株)夢ファーム 代表取締役 奥山 孝明

定員 570名程度